

平成27年度

単位施策評価表

所属 19400000

生活環境部 人権・男女

施策	7202 男女共同参画の推進						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	男女共同参画を推進するため、男女共同参画プランの推進、男女共生大学の開催、男女共同参画の情報提供の充実等を図る。						
成果指標	研修会等出席者数・・・5年間（平成25年度～平成29年度）で600人（現状値550人）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	560.00	570.00	580.00	590.00	600.00
		実績	601.00	647.00	1,285.00		
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	20,503	20,444	20,539		
実績		19,980	20,089	20,115			
内 部 評 価	貢献度	上位施策の審議会等への女性委員の登用率を目標値まで高めるには研修会等を通じ男女共同参画の意識を高めることが必要であるので本単位施策の目標達成による貢献度は高い					
	達成状況	本年度は、男女共同参画宣言都市記念式典を開催したこともあり、目標値を大幅に上回る出席者数であった。					
	課題	共生大学の事業内容のマンネリ化・堅く難しいイメージからの脱却を図り、新規受講者を開拓する。					
	取組方針	「男女共同参画社会づくりを進める」という本来の目的は果たしつつ、ネーミングや開催場所も含め、事業内容を再検討する。					
外 部 評 価	<p>成果指標については、平成27年度は男女共同参画宣言都市記念式典の開催により、目標を大きく達成しており、いろいろと工夫して、研修会を計画していると思われるが、最近では時代の流れもあり、日常生活の中で男女共同がいろいろなところで展開されていると思う。具体的には、若い夫婦をターゲットにそれぞれの夫婦の実例発表等の研修会を取り入れてはどうか。</p> <p>また、男女共同参画といってもお互いを認め合い、お互いを補完することが重要であると思われるので、そのようなことを理解させる研修会を開催すべきである。さらに、そのような視点からの仕組みづくりも行うべきである。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	106501	男女共同参画都市宣言記念事業費				3,112	100
	106101	男女共同参画推進事業費				5,718	90
	106201	男女共生大学開催事業費				2,320	90
	106401	男女共同参画情報提供事業費				4,355	90
	106301	男女共同参画プラン管理事業費				3,860	85
	106701	女性青年リーダー育成事業費				750	0

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	7202 男女共同参画の推進		
区分	妥当性	妥当	男女共同参画の推進施策の実施は、市の男女共同参画推進条例で「市の責務」とされている。
	コスト削減の余地	有	コストの削減にかなり取り組んでいるが、多少は見直しの余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担は、男女共生大学の受講料(全8回で、一般1,000円・特別500円)のみで、額は適正である。
	上位貢献度	有効	上位施策の実現のため、本施策の目標達成が貢献する。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	男女共同参画意識の啓発について、地域や世代により格差があるように考察されるので、その解消を図る。
内部評価	貢献度	上位施策の「審議会等への女性委員の登用率」を目標値まで高めるためには、研修会等を通じ、市民の男女共同参画社会づくりへの意識を高めることが必要であるので、本単位施策の目標達成による上位施策への貢献度は高い。	
	達成状況	本年度は、男女共同参画宣言都市記念式典を開催したこともあり、出席者数の計が1285人と、目標値を大幅に上回る出席者数であった。	
	課題	男女共生大学における事業内容のマンネリ化・堅く難しいイメージからの脱却を図り、魅力的な講座内容となるよう見直しを行い、新規受講者を確保する。	
	取組方針	「男女共同参画社会づくりを進める」という男女共生大学本来の目的は果たしつつ、講座内容はもちろん、ネーミングや開催場所も含め、事業内容の大幅な見直しを行う。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	106201	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	男女共生大学開催事業費										主	7202	基本的人権の尊重		男女共同参画の推進		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 男女共同参画係					担当者	中嶋 美佐			従							
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,956 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・男女共生大学企画・募集業務 ・男女共生大学運営業務 ・男女共生大学運営委員会開催業務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・女性も男性も、持っている能力を十分に発揮できる、男女共同参画社会を実現させる					
											成果目標	研修会等出席者数・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で600人(現状値550人)					

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果								
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	58	69									
	一般財源	61	1									
	事業費 a	119	70									
	人件費 b	3,750	2,250									
減価償却費 c	0	0	平成26年度		平成27年度							
総事業費 a+b+c	3,869	2,320	【事業内容】 ○男女共生大学企画・募集・運営業務 公開講座との共催を含む○一般受講生(受講料1,000円)・特別受講生(中3までの子を持つ保護者 受講料500円) 【成果】 一般受講生数50名、特別受講生8名、合計58名の受講生を対象に、5月~9月まで計8回の講座を開催した。また、運営委員の活躍の場を広げ、受講生同士のコミュニケーションを深めることが出来た。		【事業内容】 ○男女共生大学企画・募集・運営業務 公開講座との共催を含む○一般受講生(受講料1,000円)特別受講生(受講料500円)【成果】一般受講生数68名、特別受講生2名、合計70名と、今年度は受講生の数が多かった。5月~9月まで計8回の講座中、第8回の女性史研究会「あいの会」による講座と市民大学の講座1回を、戦後70年という共通のテーマであることから相互に受講できるようにした。							
結果指標 1	58.00	70.00	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	8.00	8.00	受講者数	受講者数 H27目標値 80人	人		妥当	無	適正	有効	有	有
			講座の開催回数	開催回数 H27目標値 8回	回							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・今年度は、運営委員や前年度受講していた方たちの口コミで新規の受講生が増えた。また、運営委員が現地見学会の時に、関連する資料を用意してくれる、歴史の知識がある方が見学先にまつわる話を参加者にしてくれる、他の委員はみんなで歌えるように歌詞カードを用意してきてくれるなど、積極的に動いて全体を盛り上げてくれ、非常に良い雰囲気、他の回も、和気あいあいとした雰囲気のうちに事業を終了することができた。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	106301	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	男女共同参画プラン管理事業費										主	7202	基本的人権の尊重		男女共同参画の推進	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 男女共同参画係						担当者	中嶋美佐				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		男女共同参画社会基本法			事業期間	H25 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	1,290		千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・男女共同参画審議会開催業務 ・男女共同参画推進本部・幹事会・検討部会開催業務 ・年次報告書作成業務 ・男女共同参画に関する調査・研究業務 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・男女共同参画プランに基づく施策が円滑に実施され、プランの実施期間中に、プランに定める目標を達成させる。 ・男女共同参画プラン(第2期分)を策定する。また、プラン策定に向け、市民意識調査を実施する。				
	成果目標	研修会等出席者数・・5年間(平成25年度~平成29年度)で600人(現状値550人)									

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果		平成26年度		平成27年度					
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	【事業内容】 男女共同参画審議会(プラン進行状況の管理、諮問事項の審議等)1回開催した 男女共同参画推進本部検討部会員研修会を2回開催した 【成果】 ・男女共同参画の施策の実施状況調査を行い施策事業の評価を実施した。 ・プランの年次報告書を作成し、関係機関への配布と市ホームページでの公表を行った。	【事業内容】 男女共同参画審議会(プラン進行状況の管理、諮問事項の審議等)実施回数 1回 男女共同参画推進本部検討部会員研修会を2回開催した。 【成果】 ・男女共同参画の施策の実施状況調査を行い施策事業の評価を実施した。 ・プランの年次報告書を作成し、関係機関への配布と市ホームページでの公表を行った									
	県支出金		0	0											
	地方債		0	0											
	その他特財		0	0											
	一般財源		81	110											
	事業費 a		81	110											
	人件費 b		3,750	3,750											
減価償却費 c		0	0												
総事業費 a+b+c		3,831	3,860	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		25.00	26.50	審議会等への女性委員の登用率	女性委員数÷審議会等の全委員数	H27目標値 30%	%	妥当	無	適正	有効	無	有		
結果指標 2		76.70	69.80	検討部会研修会出席率	出席者数÷検討部会の全委員数	H27目標値 80%	%								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・プランに定める目標値の達成に少しでも近づけるよう、「審議会等への女性委員の登用率」の調査書の項目に、今後達成可能な数値や、目標達成を妨げる理由等を記載する箇所を設け、女性登用について、本当に解決しなければならない問題として各課に捉えてもらえるように工夫した。												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考													
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	030101	予算事業コード	106401	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	男女共同参画情報提供事業費										主	7202	基本的人権の尊重		男女共同参画の推進		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 男女共同参画係						担当者	中嶋美佐				従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等		男女共同参画社会基本法						事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	5,224 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・男女共同参画に関する広報・啓発活動を行う ・男女共同参画地域推進員や男女共同参画に取り組む団体等との連携の強化を図る 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・市や男女共同参画地域推進員が発信する男女共同参画に関する情報が広く市民に浸透し、男女共同参画に関する市民の意識を向上させる。					
	成果目標	研修会等出席者数・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で600人(現状値550人)															

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0												
	県支出金		0	0												
	地方債		0	0												
	その他特財		0	0												
	一般財源		592	605												
	事業費 a		592	605												
	人件費 b		3,750	3,750												
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a+b+c		4,342	4,355													
結果指標 1		141.00	0.00	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価							
結果指標 2		55,000.00	54,000.00	男女共同参画のつどい参加者数	参加者数	H27目標値	100人	人	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
				男女共同参画広報紙発行部数	発行部数	H27目標値	55,000部	枚	妥当	無	適正	有効	無	有		

事業改善計画 (改善内容とその効果を具体的に記入)
 ・男女共同参画広報紙「きららとちぎ」の年1回市内全戸配布を行った。・ミニ市民のつどいを男女共同参画地域推進員とともに2月に西方町で行い、地元自治会の協力を得て、男女共同参画社会づくりの意識啓発を行った。西方町や岩舟町など、これまで男女共同参画地域推進員がいない、もしくは数が少ない地域に、今後も継続して意識啓発を行っていききたい。・男女共同参画週間中の街頭啓発に加えDV防止週間にも市民スペースを利用してパープルツリーや関連するチラシ等を展示し意識啓発を行った。これも今後も継続・発展させていきたい

事後評価備考